

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 高山陣屋跡保存修理事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部高山陣屋管理事務所 管理調整係

電話番号：0577-32-0643

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,820 千円 (前年度予算額： 17,087 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,087	8,543	0	1,544	0	0	0	6,300	700
要求額	4,820	2,410	0	0	0	0	0	2,100	310
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

高山陣屋跡保存修理事業(文化庁所管 史跡等保存整備事業)を実施し、国史跡高山陣屋跡を保存します。

(2) 事業内容

【保存整備事業】

- ・屋根葺替、老朽化工事実施設計(表門、門番所)
- ・原木購入

(3) 県負担・補助率の考え方

高山陣屋跡保存修理事業（文化庁所管 史跡等保存整備事業）
負担区分及びその財源
国庫支出金（文化庁） 2 分の 1
県費（使用料手数料） 2 分の 1

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	266	事務旅費
需用費	5	消耗品
備品購入費		
委託料	2,707	屋根葺替・老朽化工事実施設計（表門・門番所）
原材料費	1,800	樽へぎ実演用原木購入
その他	42	報償費
合計	4,820	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

高山陣屋跡保存修理計画

(2) 後年度の財政負担

計画的に保存修理を実施していくため、財政負担必要

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が事業主体となり、高山陣屋跡保存修理を適切に実施し、施設を広く公開する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国唯一、徳川幕府の代官所跡が現存する国史跡高山陣屋跡の保存修理を適切に行い、広く公開します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R23)	達成率
①高山陣屋修繕 計画（事業費）	—	12,065,135	24,148,695	17,087,000	15,254,000	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（書物蔵） ・屋根葺替工事監理（書物蔵） ・屋根葺替工事設計（御役所北） ・耐震補強工事 ・耐震補強工事監理 ・屋根葺替工事用樽板購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>
	指標① 目標：27,997,000円 実績：16,396,192円 達成率：約58%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（御役所北） ・屋根葺替工事監理（御役所北） ・樽へぎ実演用原木購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>
	指標① 目標：12,986,000円 実績：12,065,135円 達成率：約92%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（御役所北） ・屋根葺替工事監理（御役所北） ・老朽化調査（表門、門番所） ・屋根葺替用樽板購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>
	指標① 目標：24,193,000円 実績：21,148,695円 達成率：約87%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存していくために、必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存し、351千人(令和6年度)の入場者に公開することができた。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	専門家会議で助言や指導を受けながら保存修理を行い、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設を適切に維持保存し広く公開していくために、専門家会議や文化庁の指導を受けながら事業を進めたい。

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 年間351千人(令和6年度)の入場者がある国史跡高山陣屋跡を、県民の誇りとして維持保存し広く公開するために、適切に事業を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	